



令和7年度 地域協働学校 ふじみ野市立元福小学校

元福小だより

No.5 令和7年8月25日

ふじみ野市元福岡3-15-2 TEL 264-5402 FAX 266-2796
E-mail motofukusho@fujimino.ed.jp



夢や目標をもって

校長 木内 芳仁

私の幼少期の将来の夢は、小学校の先生になることでした。その当時は、特別に高尚な理由があるわけではなく、漠然と「先生の仕事は楽しそうだな」と思ったのが夢をもったきっかけでした。それから先もその夢は変わることなく、現在に至っています。運よく教職に就くことができた今、幼少期に抱いた夢のきっかけだった「先生は楽しそう」という子供ながらの思いがどうだったかという、それはどんな職業も同じだと思いますが、当然楽しいこともあればそれだけではない状況に直面することもあります。ただ、夏休みという少し時間的な余裕がある時に、今までを振り返り、そして、この元福小で校長として務めさせていただいている今を振り返ると、本当にたくさんの方々に支えられ、これまでも、そして今も「楽しく」この仕事をさせていただいていると心から感じております。

夏休み中の8月2日、3日に第71回上福岡七夕まつりが開催され、元福小からも七夕まつり委員会のみなさんが心を込めて作成してくださった素晴らしい竹飾りが展示されました。ご覧になられた方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。この竹飾りには、全校児童、教職員が願い事を書いた短冊がつけられていました。そして、その短冊には、「みんなと仲良くすごせますように」、「友達がたくさんできますように」、「サッカー選手になれますように」、「テストでよい点数がとれますように」、「大好きなキャラクターに会いたい」、「好き嫌いなく何でも食べられるようになりたい」など、一人一人の思いが込められた願い事が書かれていました。



七夕の願い事に限らず、夢や目標をもつことには大きな意味があると思います。なぜなら、夢や目標をもつことで、その夢を叶えるため、目標を実現するために考え、行動するようになるからです。夢や目標をもっただけで満足してしまっただけでは何も変わりません。それまで考えなかったことを考え、やっていなかったことをやってみることが大切で、その過程が自分を成長させることにつながります。また、今まで気付かなかった自分に気付くことがあるかもしれません。七夕の願い事もそうだったように、夢や目標は人それぞれです。すぐに叶うものもあれば、時間をかけてようやくたどり着くものもあると思います。中には、どんなに考えても行動しても叶わないものもあるかもしれません。しかし、たとえ叶わなかったとしても、考え、行動したことには大きな価値があり、自分を成長させる一歩になるに違いありません。

今日から2学期が始まり、約1か月ぶりに子供たちの元気な声が戻ってきました。1学期の終業式で子供たちに「できれば何か、夏休みだからこそできることに挑戦してほしい」という話をしました。ご家庭で、お子さんが自分で決めたことに挑戦する姿は見られたでしょうか。学校では2学期も引き続き、子供たち一人一人の夢や目標が実現するよう積極的な挑戦を促し、「認め合い、励まし合い、挑戦を続ける学校」の実現に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、2学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。